新しいクオリティへ、新しいスピードで。 『りそな』
HUMAN COMMUNICATION

2014年3月期 第2四半期
(2013年度 中間期)
決算ハイライト

2013年11月12日

りそなホールディングス
RESONA

Ⅰ. 2014年3月期 中間期の概要

（単位：億円）

■ HD連結中間純利益：1,220億円を計上 . . . Page1,2

・前年同期比536億円（△30.5%）減益、予想比520億円（＋74.2%）増益

⇒ 前年の会社例示区分見直し影響（901億円）除き：前年同期比365億円増益

⇔ 株式等関係損益、与信費用が前年同期比、予想比（銀行合算）とも改善

・株式等関係損益：前年同期比＋377億円、予想比（銀行合算）＋200億円

・与信費用：前年同期比＋86億円、予想比（銀行合算）＋358億円

■ トップライン（銀行合算）：予想比増益、役務利益が好調 . . . Page3,4

・実勢業務純益（銀行合算）：前年同期比56億円（△4.5%）減益、
予想比31億円（＋2.6%）増益

⇔ 貸出金残高（HD連結）：前年同期比約5,000億円増加

⇔ 国内預貸金利回り差（銀行合算）：1.45%、前年同期比△11bp、予想比△2bp

⇔ 金融商品販売：投資信託販売額が前年同期比8割増

⇔ 債券関係損益：減益分は純投資株式投資信託により実質補完

■ 財務の健全性を維持・向上 . . . Page5,7

・2013年9月末 不良債権比率（銀行合算）：1%台（1.91%）へ

・2013年9月末 その他有価証券評価差額（銀行合算）：2,942億円、含み益を確保

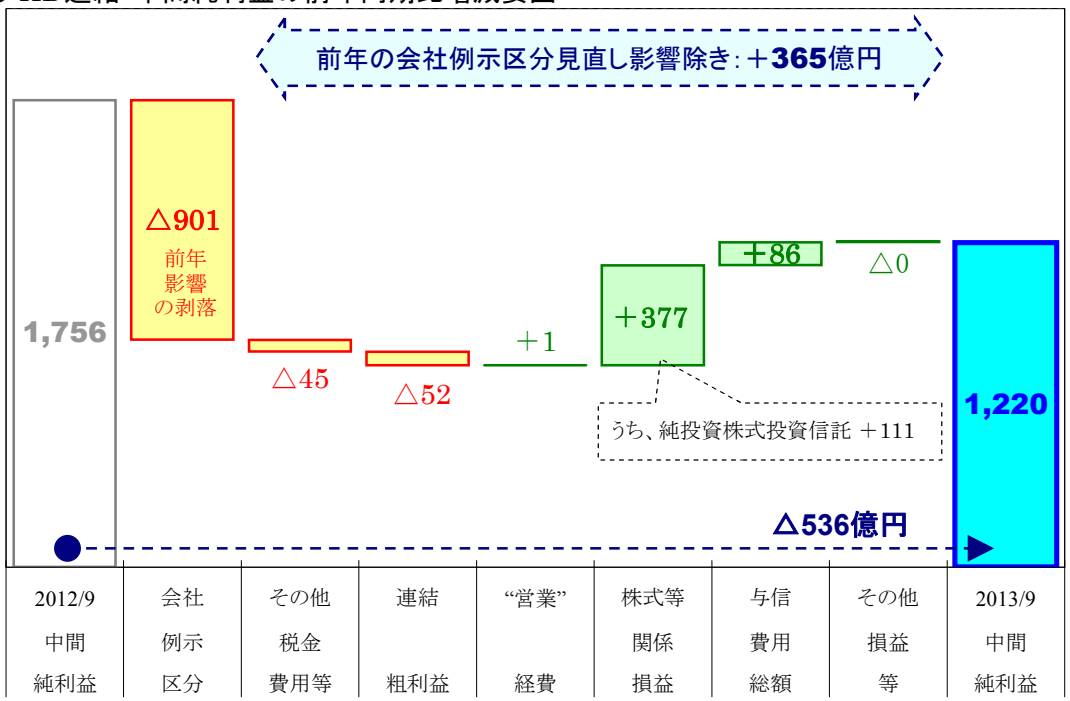
・2013年9月末 HD連結自己資本比率（速報値）：15.21%、Tier1比率（速報値）：11.16%

■ 公的資金完済プラン（2013年5月公表）を着実に遂行 . . . Page6

・2013年7月 預金保険法普通株式の一部返済（取得・消却）：992億円（注入額ベース）

⇒ 2013年8月 預金保険機構に対し、残存する普通株式の処分を申出

○ HD連結・中間純利益の前年同期比増減要因



HD《連結》	2013年9月期	（2013年5月公表） 前年同期比	予想比
経常利益	1,743	＋393	＋643
中間純利益	1,220	△536	＋520

HD〈単体〉	2013年9月期	（2013年5月公表） 前年同期比	予想比
経常利益	1,225	＋38	△25
中間純利益	1,233	＋45	△17

	銀行合算〈単体〉【2013年9月期】	（2013年5月公表） 前年同期比	予想比	りそな〈単体〉	（2013年5月公表） 前年同期比	予想比	埼玉りそな	（2013年5月公表） 前年同期比	予想比	近畿大阪〈単体〉	（2013年5月公表） 前年同期比	予想比
業務粗利益	2,858	△42	＋38	1,890	△39	＋10	690	△19	—	278	＋16	＋28
経費	△1,677	△13	△7	△1,102	△14	△12	△381	△3	△1	△193	＋3	＋2
実勢業務純益*1	1,181	△56	＋31	788	△53	△2	308	△22	△2	84	＋20	＋29
経費率（信託勘定処理考慮）	58.6%	＋1.3%		58.3%	＋1.9%		55.2%	＋2.0%		69.5%	△6.0%	

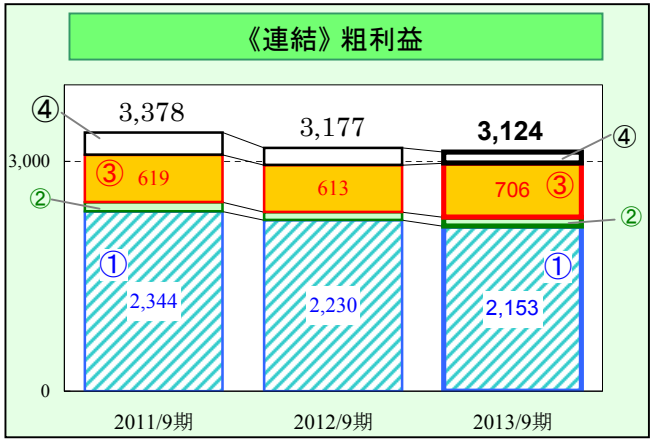
*1 実勢業務純益：信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

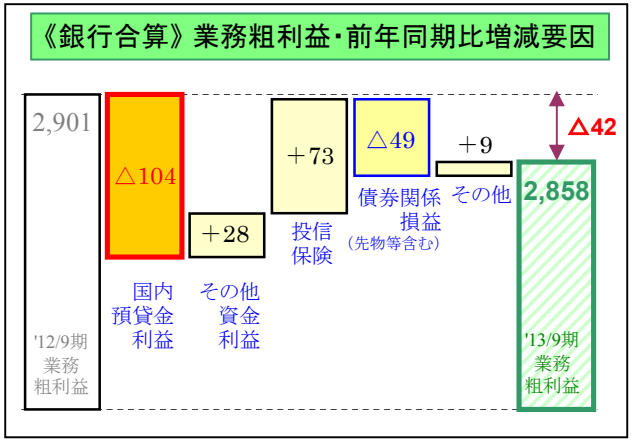
注1）：金額については単位未満を切捨て表示
注2）：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

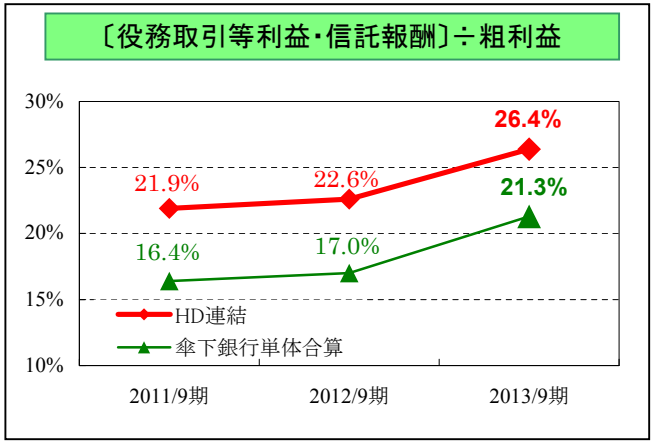
（単位：億円）

Ⅱ．2014年3月期 中間期の損益状況等

	HD《連結》 (A)	前年同期比	連単差 (A)－(B)	傘下銀行単体合算 (B)	前年同期比	うち りそな〈単体〉	うち 埼玉りそな	うち 近畿大阪〈単体〉	連単差(A)－(B)の内訳など〔概数〕
粗利益〔連結/業務〕	3,124	△52	＋266	2,858	△42	1,890	690	278	
① 資金利益	2,153	△77	＋45	2,108	△76	1,321	586	200	カード15、他
うち国内預貸金利益				1,843	△104	1,156	505	182	預貸金利益：国内部門、銀行勘定、預金に譲渡性預金を含む
② 信託報酬	118	＋12	△0	118	＋12	118	—	—	
③ 役務取引等利益	706	＋92	＋215	491	＋101	348	100	41	保証141、カード69、他
④ その他業務粗利益	146	△80	＋5	140	△80	101	2	36	
うち債券関係損益	92	△106	—	92	△106	55	2	34	
実勢業務純益				1,181	△56	788	308	84	（信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益）
コア業務純益				1,088	＋50	732	305	50	（債券関係損益、信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益）
“営業”経費	△1,756	＋1	△89	△1,667	＋2	△1,081	△387	△198	カード△55、保証△16、他
株式等関係損益	200	＋377	＋0	200	＋379	194	2	4	
与信費用総額	139	＋86	△8	148	＋35	152	7	△12	保証5、カード△13、他
その他損益等	50	△0	＋24	26	△19	19	6	0	
税引“前”中間純利益	1,758	＋410	＋192	1,566	＋354	1,175	318	71	
税金費用ほか	△538	△947	△50	△487	△882	△339	△118	△29	少数株主利益△43、HD他税金費用他△6
税引後中間純利益	1,220	△536	＋141	1,079	△527	836	200	42	

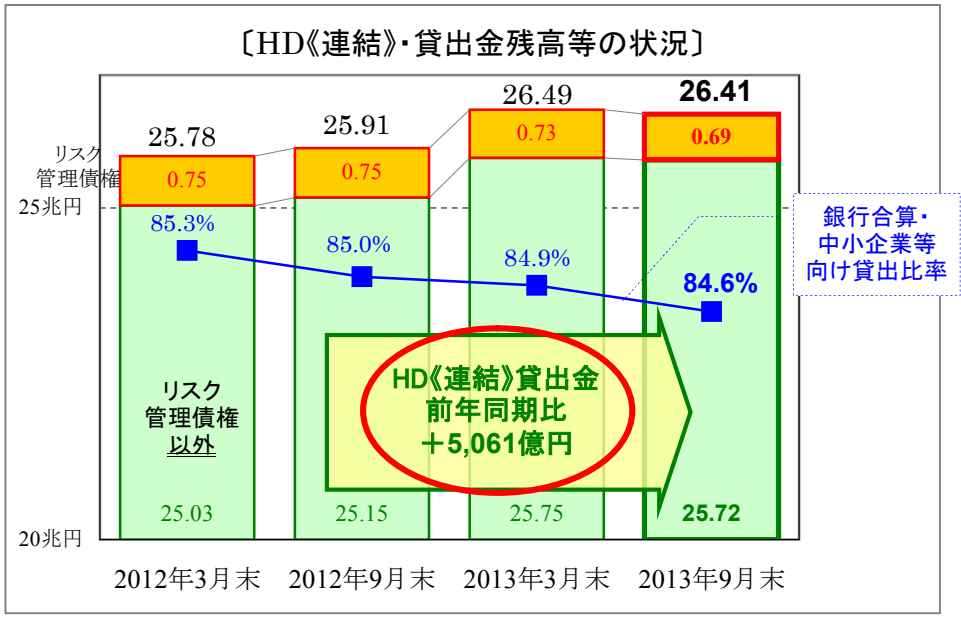


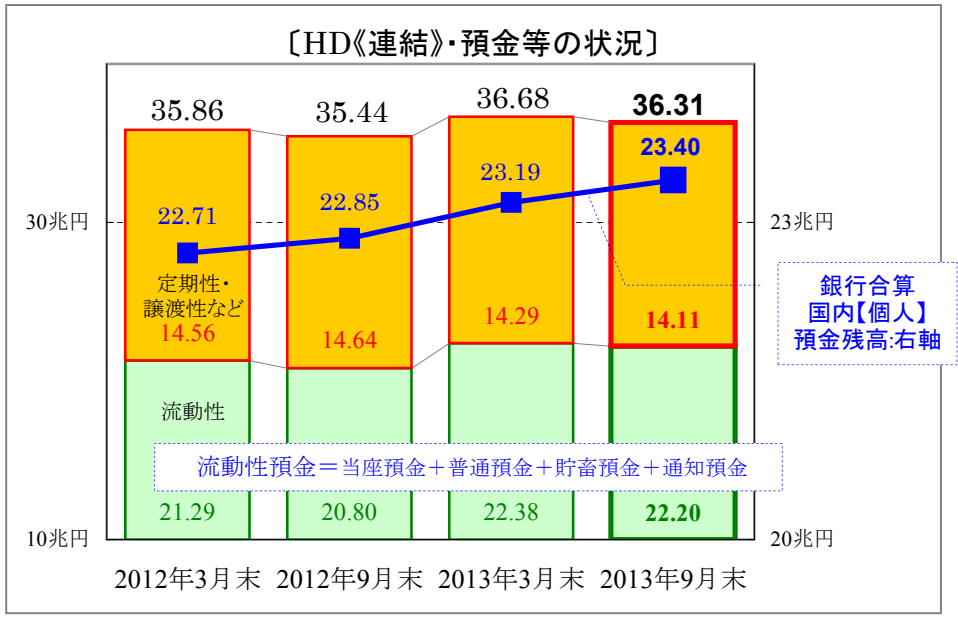


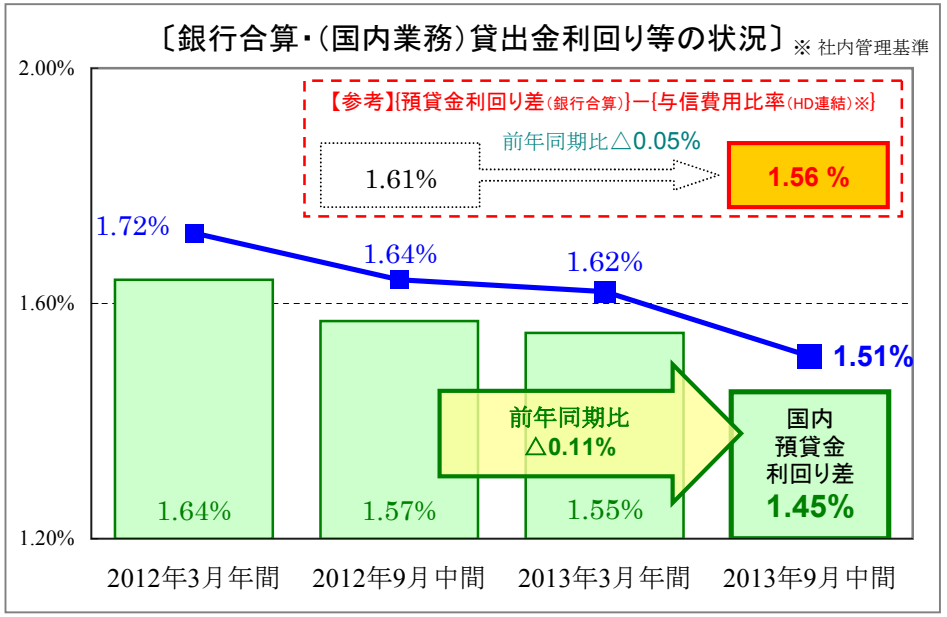


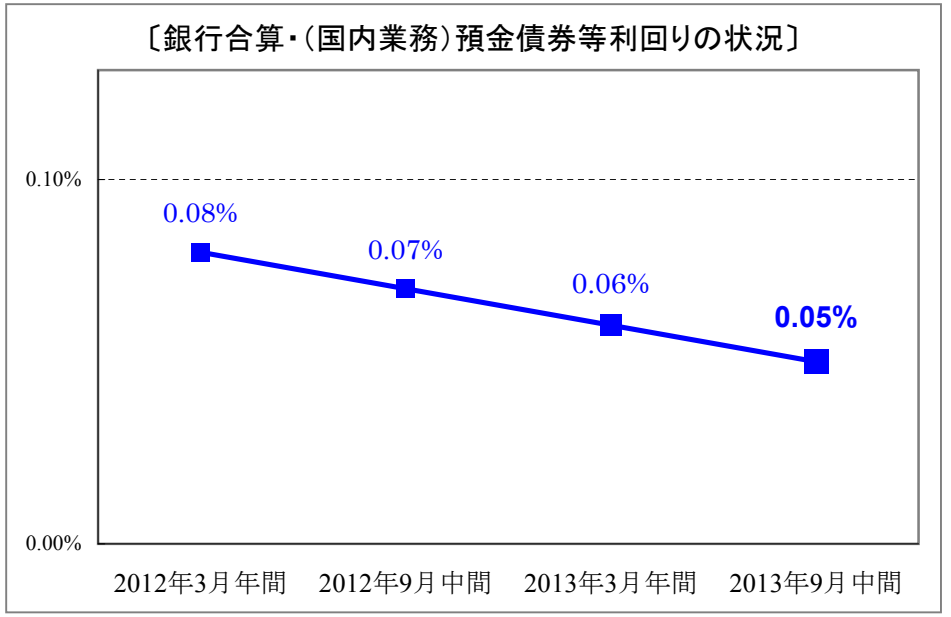
注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅲ. 預貸金の状況







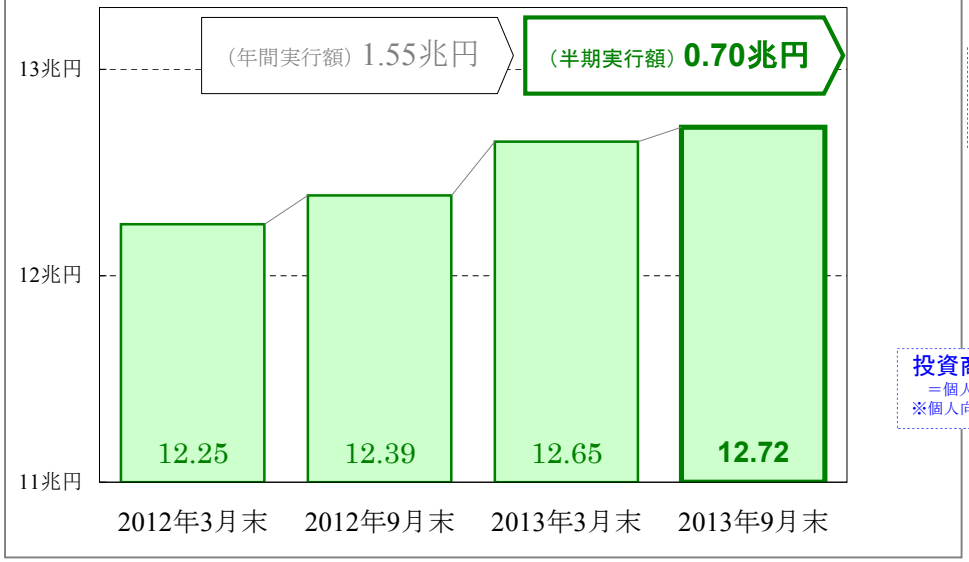


注1:金額については単位未満を切捨て表示
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅳ. 主要ビジネス ～Leading Field～ の状況

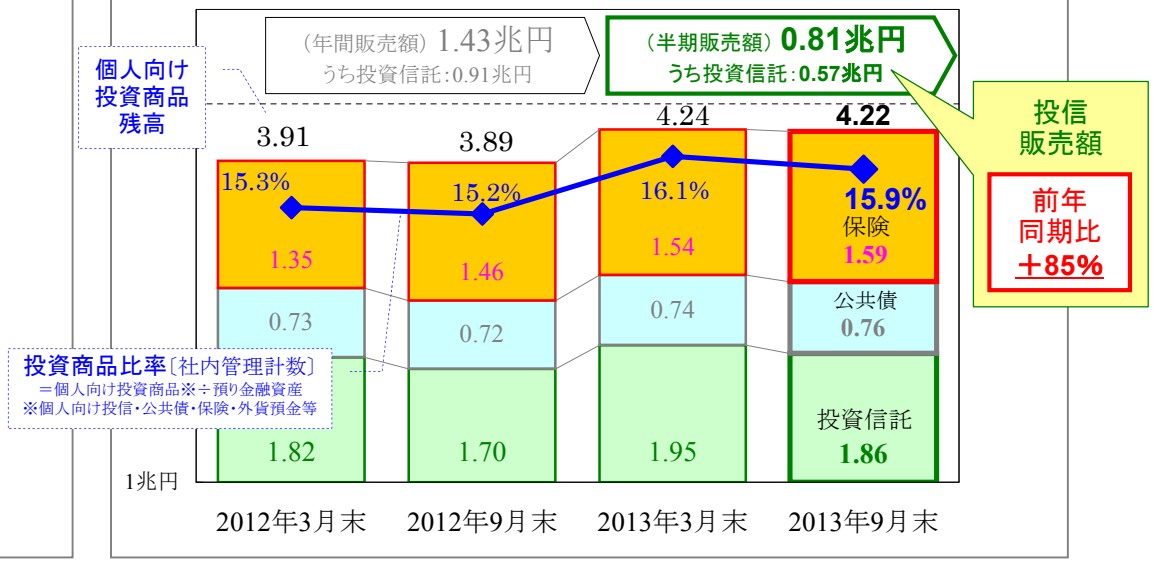
〔銀行合算・住宅ローンの状況〕

※一部、社内管理計数/実行額にフラット35を含む



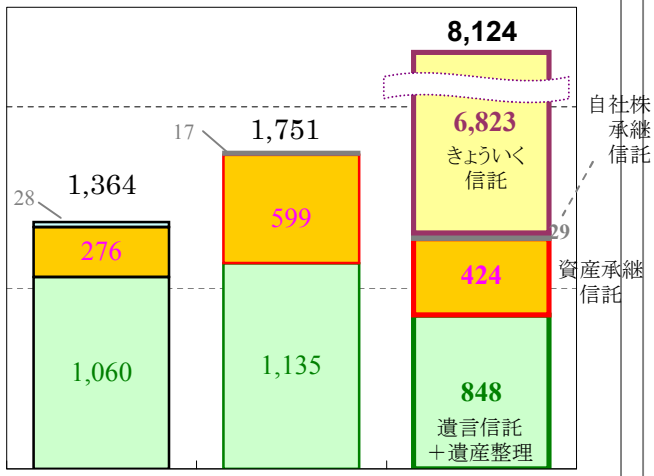
〔銀行合算・個人向け投資商品の状況〕

※ 一部、社内管理計数



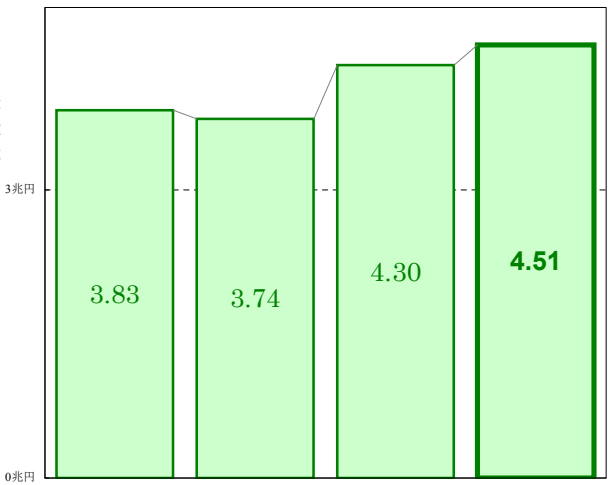
〔りそな銀行・資産承継ビジネス等※の状況〕

※ 社内管理の新規利用件数



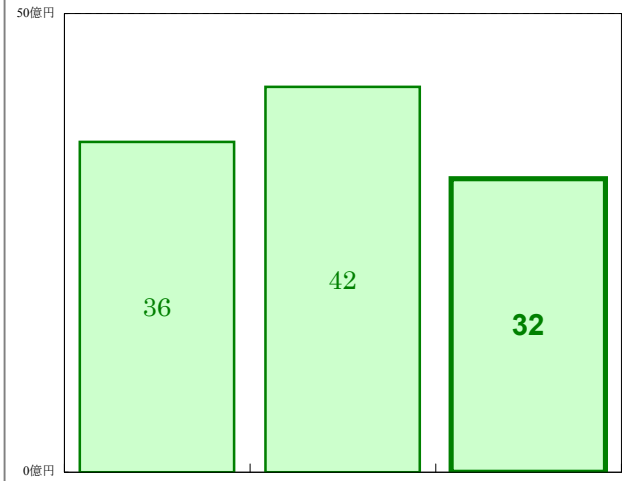
〔りそな銀行・企業年金受託残高※の状況〕

※ 社内管理残高



〔りそな銀行・不動産業務※の状況〕

※ 不動産ファンド出資関連を除く社内管理の収益計数

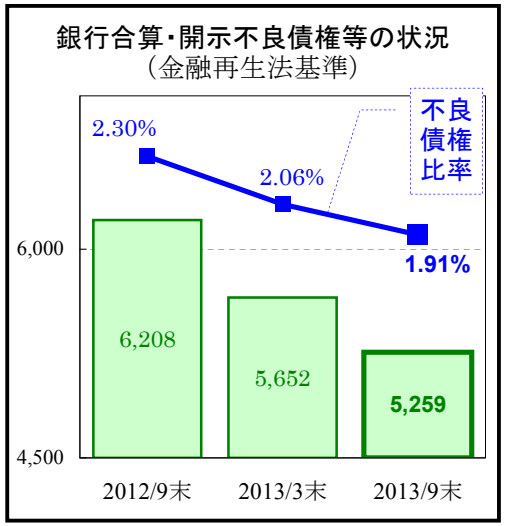


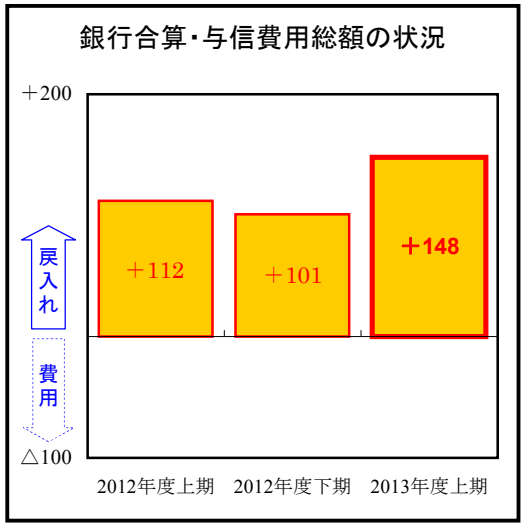
注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

（単位：億円）

Ⅴ．与信費用・開示不良債権の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
信託勘定処理	△0	△0	—	—
一般貸引繰入額	122	80	23	18
個別貸引繰入額	6	41	△19	△15
償却他処理額	△89	△48	△16	△24
償却債権取立益	107	78	20	8
与信費用総額	**148**	152	7	△12
① **新規発生**	**△154**	△71	△45	△37
② **区分改善**	**55**	38	9	8
③ **オフバランスなど**	**124**	105	20	△1
④ **一般貸引**	**122**	80	23	18





① 新規破綻・債務者区分劣化等の損失
② 債務者区分の改善に伴う引当金取崩等を合算
③ 破綻懸念先以下の債権回収に加えて、オフバランス等に伴う引当金取崩および償却債権取立益等を合算
④ 実質的な一般貸倒引当金の繰入・戻入をネットした影響等（一部、目的取崩等を考慮）

Ⅵ．有価証券の評価損益等の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
破産更生債権等	618	425	112	80
危険債権	3,306	1,891	807	607
要管理債権	1,334	867	240	226
開示不良債権計	**5,259**	3,184	1,159	915
2013年3月末比	△392	△397	＋19	△14
不良債権比率※1	**1.91%**	1.75%	1.73%	3.55%
2013年3月末比	△0.14%	△0.22%	＋0.03%	△0.05%

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
満期保有目的	657	363	219	73
その他有価証券※3	**2,942**	2,085	757	99
2013年3月末比	＋366	＋373	＋9	△16
債券※4	**41**	△62	82	20
うち 変動利付国債	3	0	0	2
株式	**2,922**	2,200	671	50
その他	**△21**	△52	3	27
株式残高（取得原価ベース）※2	3,333	2,656	631	44

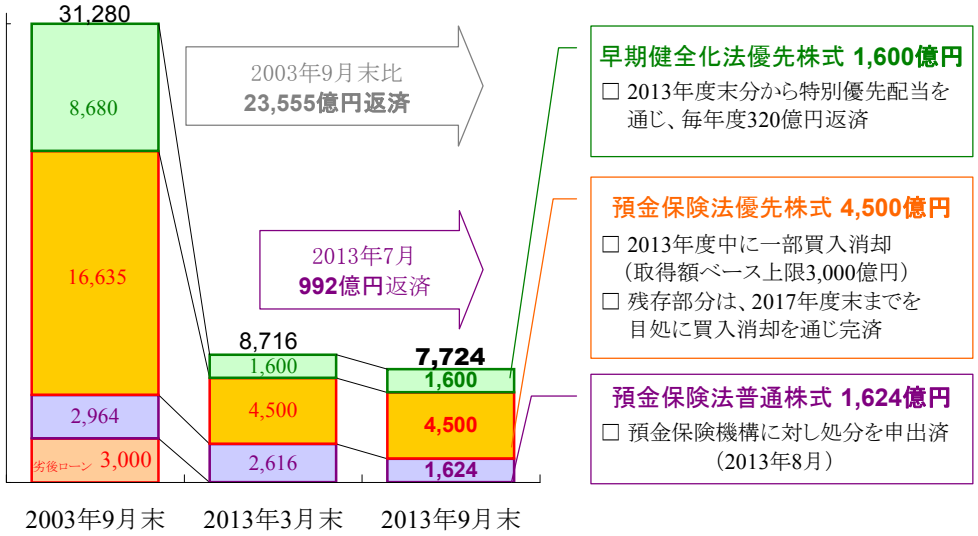
※1. 開示不良債権計÷金融再生法基準開示債権総合計（総与信）【銀信合算】
※2. 規制対象外株式（子会社・関連会社株式・非上場株式）を除いて算出しております。
※3. 時価のある有価証券のみを対象として記載しております。「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の一部が含まれております。
※4. その他有価証券の債券（うち国債）に含まれる変動利付国債の時価は、日本証券業協会より公表されている公社債店頭売買参考統計値を用いて算出しております。
なお、社内管理ベースの理論価格で試算した場合、評価差額は6億円となります。

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示

（単位：億円）

Ⅶ. 公的資金の状況

	2003年9月末残高 ①	2013年9月末残高 ②	②－①	返済時期
公的資金合計	31,280	**7,724**	**△23,555**	
優先株式	25,315	6,100	△19,215	
早期健全化法	8,680	1,600	△7,080	
乙種	4,080	－	△4,080	2009.3 完済
丙種	600	600	－	
戊種	3,000	－	△3,000	2009.3 完済
己種	1,000	1,000	－	
預金保険法	16,635	4,500	△12,135	
第1種	5,500	－	△5,500	2011.3 完済
第2種	5,635	－	△5,635	2011.3 完済
第3種	5,500	4,500	△1,000	2011.3 一部返済
劣後ローン	3,000	－	△3,000	
金融安定化法	2,000	－	△2,000	2005.10 完済
早期健全化法	1,000	－	△1,000	2009.3 完済
普通株式	2,964	1,624	△1,339	2013.7ほか計4回 返済

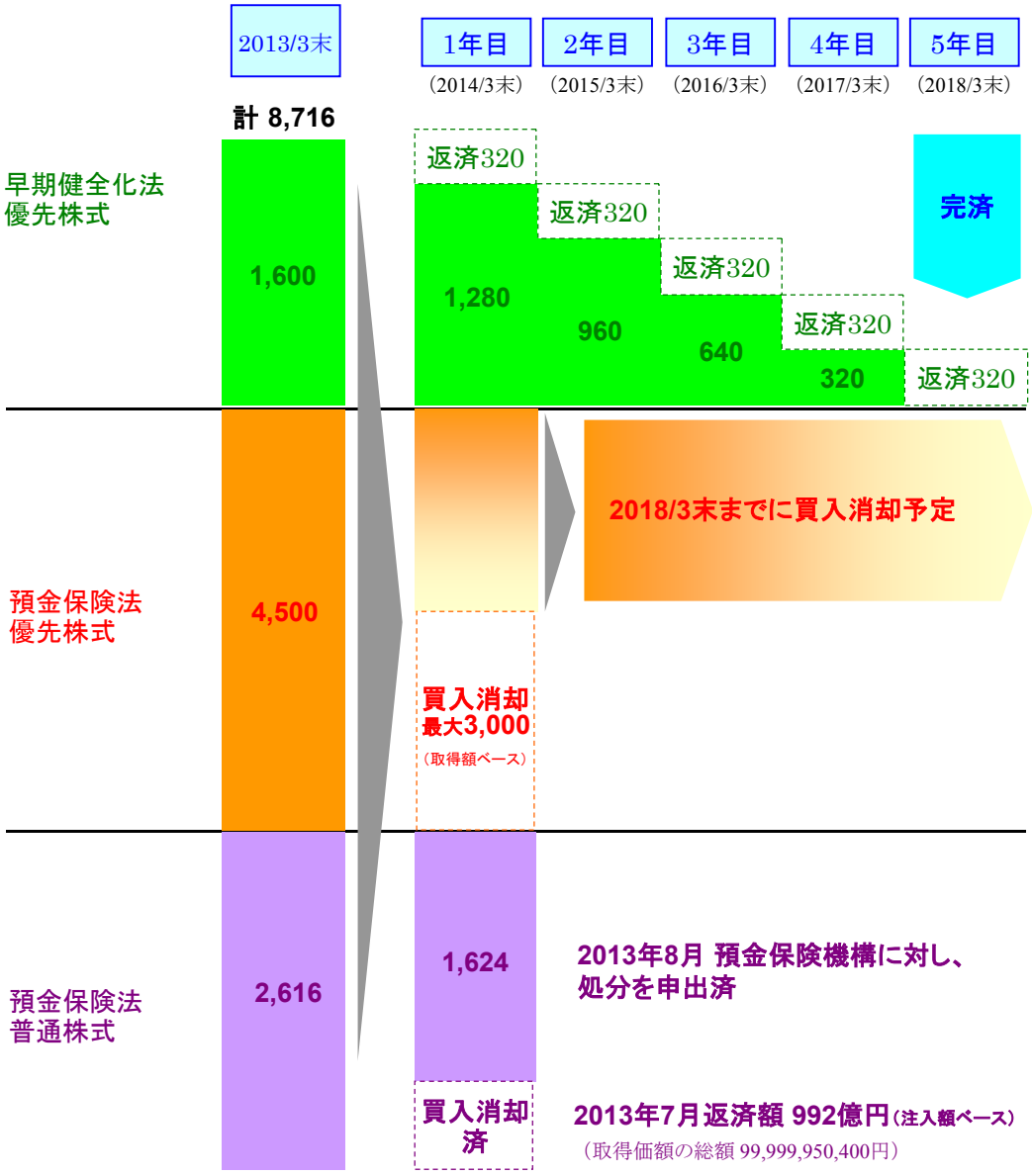


早期健全化法優先株式 1,600億円
□ 2013年度末分から特別優先配当を通じ、毎年度320億円返済

預金保険法優先株式 4,500億円
□ 2013年度中に一部買入消却（取得額ベース上限3,000億円）
□ 残存部分は、2017年度末までを目処に買入消却を通じ完済

預金保険法普通株式 1,624億円
□ 預金保険機構に対し処分を申出済（2013年8月）

今後の公的資金残高の推移（イメージ）～ 公的資金完済プラン（2013年5月 公表）～



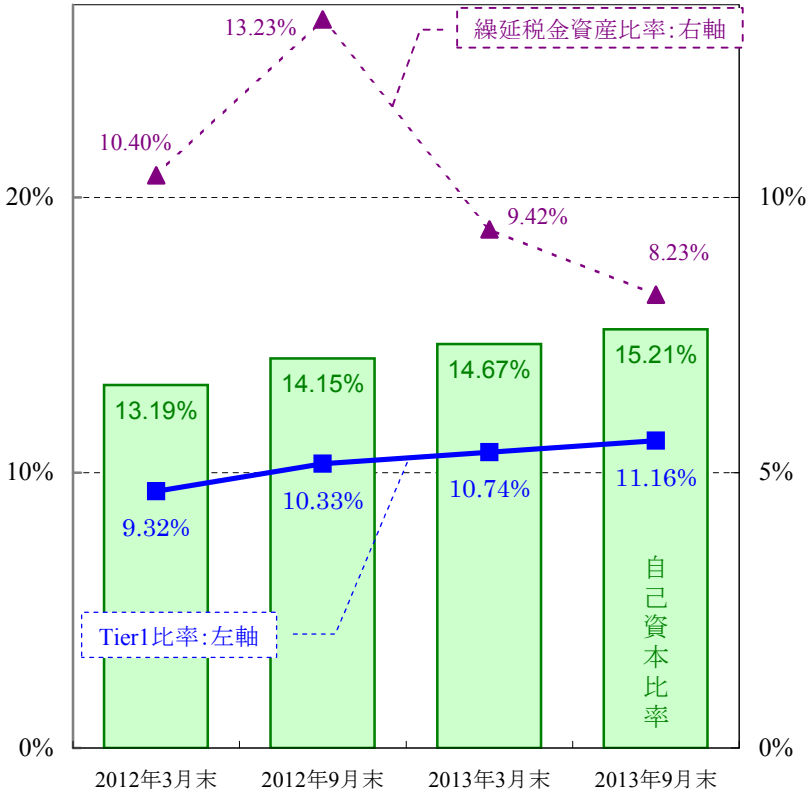
注1：金額については単位未満を切捨て表示

（単位：億円）

Ⅶ. 自己資本比率の状況

	2012年9月末	2013年3月末 ①	2013年9月末 ②	〔速報値〕 ②－①
HD連結・自己資本比率（国内基準）	14.15%	14.67%	**15.21%**	＋0.54%
Tier 1比率	10.33%	10.74%	11.16%	＋0.42%
繰延税金資産比率※1	13.23%	9.42%	8.23%	△1.19%
HD連結・自己資本額	24,532	25,541	25,891	＋350
うち Tier 1	17,905	18,705	19,002	＋296
HD連結・リスク・アセット等	173,267	174,050	170,140	△3,910
HD連結・総所要自己資本額※2	13,861	13,924	13,611	△312

【参考】HD連結・自己資本比率の推移



	りそな《連結》	埼玉りそな〈単体〉	近畿大阪《連結》
自己資本比率（国内基準）	**14.57%**	**13.08%**	**13.87%**
2013年3月末比	＋1.08%	＋0.62%	＋0.52%
Tier 1比率	10.51%	8.78%	9.24%
自己資本額	17,772	4,477	1,758
2013年3月末比	＋961	＋189	＋53
うち Tier 1	12,829	3,005	1,171
リスク・アセット等	121,973	34,210	12,672
2013年3月末比	△2,593	△199	△86
総所要自己資本額※2	9,757	2,736	1,013
2013年3月末比	△207	△15	△6

※1　繰延税金資産の純額÷Tier 1

※2　りそなホールディングス及び傘下銀行は国内基準行ですが、
基礎的内部格付手法を採用しているため、総所要自己資本額は
「リスク・アセット等×8%」により算出しております。

注1：金額については単位未満を切捨て表示

（単位：億円）

Ⅸ. 2014年3月期 通期の業績予想

	HD《連結》			
	（中間期実績）	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
連結経常利益	1,743	**2,700**	＋500	△151
連結当期（中間）純利益	1,220	**1,850**	＋400	△901

	HD〈単体〉			
	（中間期実績）	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
営業収益	1,283	**2,580**	―	＋135
営業利益	1,248	**2,500**	―	＋126
経常利益	1,225	**2,480**	△20	＋103
当期（中間）純利益	1,233	**2,480**	△20	＋102

2014年3月期末普通配当予想※	15円
2014年3月期末優先配当予想※	所定の配当

※ 配当状況・予想の詳細については、「決算短信」表紙2.配当の状況をご覧下さい。

	銀行合算 【概数】				りそな			埼玉りそな			近畿大阪		
	（中間期実績）	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
業務粗利益	2,858	**5,630**	―	△186	3,740	△20	△139	1,370	―	△48	520	＋20	＋1
経費	△1,677	**△3,300**	―	＋56	△2,170	―	＋32	△745	―	＋9	△385	△5	＋13
実勢業務純益	1,181	**2,330**	―	△130	1,570	△20	△106	625	―	△38	135	＋15	＋15
経常利益	1,582	**2,490**	＋480	△55	1,835	＋385	△42	580	＋45	△46	75	＋55	＋34
税引"前"当期（中間）純利益	1,566	**2,430**	＋460	△107	1,785	＋360	△88	570	＋45	△54	75	＋55	＋35
税引後当期(中間）純利益	1,079	**1,640**	＋330	△879	1,240	＋270	△815	355	＋30	△71	45	＋30	＋8
株式等関係損益	200	**200**	＋200	＋277	195	＋195	＋269	―	―	△2	5	＋5	＋10
与信費用総額	148	**△145**	＋275	△359	△50	＋220	△345	△40	＋35	△19	△55	＋25	＋4

本資料中の将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。
本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。
併せて、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌など各公表済の最新資料をご参照下さい。

注1：金額については単位未満を切捨て表示
注2：原則、各傘下銀行の単体計数を表示